

日本学校ソーシャルワーク学会第 11 回全国大会 in 東京

日程：2016 年 8 月 27 日（土）・28 日（日）

会場：法政大学 多摩キャンパス

（東京都町田市相原町 4342）

大会テーマ

子どもの育ちと家庭を支える学校

～ソーシャルワークの機能に着目して～

第一報！！



あいさつ

日本学校ソーシャルワーク学会の第 11 回全国大会を法政大学多摩キャンパスで行うこととなりました。大会に向けて、関東を中心としたスクールソーシャルワーカーや研究者が集まり準備を進めております。大会テーマは「子どもの育ちと家庭を支える学校～ソーシャルワークの機能に着目して～」です。

近年、子どもの貧困対策法やチーム学校など、様々な側面から学校やスクールソーシャルワーカーの役割に期待が寄せられています。一方、「子ども」や「家庭」に関する議論を見ると、その評価や方向性は混沌としています。スクールソーシャルワーカーへの注目が高まる今日こそ、支援対象をきちんと理解したうえでの支援構築が求められています。本大会では、子どもと子どもの育ちについて、その家庭がおかれた環境や社会の動向も含めて検討し、そこに学校やスクールソーシャルワークが、どのような機能をはたすべきなのかについて議論を深めたいと思います。

本キャンパスは都心から離れておりますが、東京都下と思えないほどの緑豊かな環境に恵まれています。この落ち着いた場所で、上記のテーマについて 2 日間じっくりと考える時間をお過ごしいただきたいと思っております。みなさまのご参加をスタッフ一同、お待ちしております。

第 11 回全国大会 大会実行委員長
日本学校ソーシャルワーク学会 代表理事
岩田 美香（法政大学教授）

1. 大会プログラム

8月27日（土）事前研修

TIME	SUMMARY
9：30	受付開始
9：50	<p>【公開研修】</p> <p>「教育行政におけるスクールソーシャルワーカー活用事業の意義」</p> <p>講師：中野 澄（国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター 総括研究官） コーディネーター：佐々木 千里（京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）</p> <p><<受講資格：特になし（非会員参加可） 定員：140名（先着順）【受講料】1,000円>></p> <p><研修のねらい> 「いじめ」や「子どもの貧困」、「チーム学校」等様々な切り口で、スクールソーシャルワーカーの活用が注目されており、各自治体においても急速に「スクールソーシャルワーカー活用事業」が進められています。事業を効果的に展開させるためには、様々な施策が打ち出される教育行政全体において、または大きなビジョンの中で、この事業がどのような意味や目的をもっているのか、スクールソーシャルワーカーと教育委員会が共通理解する必要があるでしょう。今回は、まず教育行政の立場から「スクールソーシャルワーカー活用事業」を語っていただき、「子どもの最善の利益」の実現のために教育と学校ソーシャルワークがめざすべき方向性と、それぞれの役割を学びなおす機会にしたいと思います。</p>
11：50	<p>【専門研修】</p> <p>「教師・保護者・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの連携によるチーム学校～学校心理学の視点から～」</p> <p>講師：石隈 利紀（東京成徳大学教授、日本学校心理士会会長） コーディネーター：大塚 美和子（大阪府教育委員会チーフ SSW）</p> <p><<受講資格：学会員（非会員参加不可） 定員：60名（先着順）【受講料】1,000円>></p> <p><研修のねらい> スクールソーシャルワーカーは、活動において多様な支援者との連携や協働を必要としますが、その際それぞれの支援者の機能や役割がより効果的に発揮されることを想定しなくてはなりません。そのためには各領域の支援者の考え方や手法を理解することが不可欠です。今回は、学校心理学での「チーム援助」における、教師や保護者、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの連携のあり方をお話しいたします。そのうえで、スクールソーシャルワーカーがめざすチーム支援と、どのような重なりがあり、どのような違いがあるのかを参加者とともに学び思考し、関係者それぞれが活かされる連携を考えてみたいと思います。</p>

<事前研修申し込みの留意事項>

- ・申し込み及び口座振込の方法は、すべて後記の「2. 大会案内」の手順に従ってください。
- ・公開研修及び専門研修は、ともに定員に達した段階で募集を終了いたします。そのため、期限内に申し込みをされた方でも受講できない場合もございます。大会事務局または学会 HP で募集状況をご確認の上、申し込みを行ってください。

8月27日（土）本大会1日目

TIME	SUMMARY
12:30	受付
13:00	開会式
13:10	基調講演 「チーム学校の動向とスクールソーシャルワークへの期待」
14:10	講師 坪田 知広（文部科学省初等中等教育局児童生徒課課長）
14:25	鼎談 「子どもの育ちと家庭を支える学校～スクールソーシャルワークの展望～」
16:50	鼎談者 田中 哲（東京都小児総合医療センター副院長、児童精神科医） 野田 正人（立命館大学教授） 岩田 美香（法政大学教授）
17:00	年次総会 会員の皆様は、ふるってご出席ください。
17:30	
17:45	送迎バスにて移動（情報交換会申込者のみ）
18:30	情報交換会 （参加者は送迎バスにて移動）
20:30	定員:120名（定員になり次第、申込を締め切ります。なお、当日申込はできません。）

8月28日（日）本大会2日目

TIME	SUMMARY
9:00	受付開始
9:30	口頭発表 ・発表は1演題あたり、発表時間20分、質疑応答15分 計35分となります。 ・発表申込締切6月10日（金）必着 *発表希望の方は後記の「3. 口頭発表応募方法・留意事項」をご参照いただき、申請事項に漏れないようご応募下さい。
12:30	
	昼休憩
13:30	課題別研究 【重要】各分科会の定員は60名です。参加申し込み順に第1希望の分科会へと振り分けていきますが、 <u>ご希望の分科会が定員に達した場合には、大会事務局で第2・第3希望の分科会へ振り分けさせていただきます。</u> <u>たたくことでもありますので予めご了承ください。</u> 詳しい内容は、HPまたは第2報でご確認ください。 第1分科会「学校ソーシャルワーク実践におけるコンサルテーションの工夫 ～効果的なアウトプットを考える～ コーディネーター：佐々木 千里（京都市教育委員会等SSWスーパーバイザー）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><趣旨> コンサルテーションは、「つながり」の構築を支援するスクールソーシャルワーカーにとって、日常的かつ重要な支援ですが、相手に伝えたいものを、適時適切に伝えるための伝達力や表現力を必要とするため、そこに悩むスクールソーシャルワーカーも少なくありません。このような状況をふまえ、今回は伝達や表現など、いわゆる「アウトプット」に着目し、学校ソーシャルワーク、学校カウンセリング等異なる立場の登壇者の発表をもとに、効果的なアウトプットによるコンサルテーションのあり方を参加者とともに考えていく機会としたいと思います。</p> </div>

第2分科会「少年事件から考える必要な仕組み～検証報告そしてイギリスの制度から～」

コーディネーター：山野 則子（大阪府立大学教授）

<趣旨> 2015年2月に起きた悲惨な少年事件の初公判が1年後であるこの2月に開かれました。少年の家族や学校のことなど考えさせられる課題がたくさん見えました。その第三者委員をされ、検証報告を書かれた先生をパネラーにお迎えし、私達は何を考えるべきなのか、検討したいと思います。

そのうえで、ではどうすればよかったのか、個人の力量の問題ではなく、二度と起こさないように、制度、仕組みとして何を作っていくべきか、教育委員会、SSW、学校関係者、それぞれがこれからどうしていけばいいのか、イギリスの学校における制度の紹介、それがイギリスでどうして成り立ったのか、ご報告を受けて、日本におけるチーム学校や内閣府の学校プラットフォームのあり様や対策の実際など国の議論も踏まえて考えたいと思います。

第3分科会「スクールソーシャルワーク研究における研究方法～新たな知見と気づき～」

コーディネーター：大崎 広行（目白大学教授）

<趣旨> 日本学校ソーシャルワーク学会が設立されて、昨年度10周年を迎えました。この間、スクールソーシャルワーク（以下、SSW）研究は、かつての諸外国のSSWの紹介だけでなく、調査研究や実践研究を中心に研究が進められてきています。このことは、2008年の国による「スクールソーシャルワーカー活用事業」の導入とともに、SSWに関する調査研究や実践研究を行う環境が整ってきたことが一因として挙げられます。今後、こうした研究の動きを、より活性化し質の高い研究へと深化させていくためには、また、歴史研究（SSW実践と教育福祉実践との関わり）や行政研究（SSW実践と行政施策との関わり）など、多様な研究領域に視野を広げていくためには、研究方法と研究領域に関する新たな知見と気づきが求められます。

そこで、本課題研究では、SSW研究の学際性と係属性についての知見を示し、日米におけるSSW研究の現状と課題について、研究領域と研究方法に焦点を当てて検討していきたいと思います。

第4分科会「東北ブロック運営委員会企画：

SSW活動を活性化させていくための地域での取り組み」

コーディネーター：田中 尚（岩手県立大学教授）

<趣旨> スクール（学校）ソーシャルワーク活動を地域で展開していくための取り組みについて、具体的な実践事例を通して検討していきたいと思います。その地域ならではの工夫や利点、さらには課題や問題点などを整理、検討することを通して、スクール（学校）ソーシャルワーク活動の活性化とは何か、そのための地域に求められる要件は何かなどについて認識を深めていきたいと考えています。特に、スクールソーシャルワーカーの確保と養成、さらには活動の内容、支援体制など構造的、本質的な問題を内包しつつも、現実的な要請や課題に応えながら、地域において展開していくうえでの課題について検討していきたいと思います。

2. 大会案内

① 参加区分と費用

		会 員	非 会 員	学生/大学院生*	教育関係者**
事前研修		1,000 円 (公開・専門どちらも/先着順)			
本大会	事前申込	3,000 円	4,000 円	1,000 円	3,000 円
	当日申込	4,000 円	5,000 円	2,000 円	5,000 円
情報交換会		5,000 円 (事前申込のみ)			

*…社会人院生は除く

**…対象：保育所保育士、幼稚園教諭、小中高大（特別支援学校や専門学校等含）教職員、教育委員会関係者、児童指導員、適応指導教室・フリースクール等の学習支援スタッフなど（すべて現職に限る）

② 参加費等支払方法

【ゆうちょ銀行】

名 義 日本学校ソーシャルワーク学会全国大会
記号・番号 17400-93866021

【他金融機関からの振込を利用する場合】

カ ナ ニホンガッコウソーシャルワークガクカイゼンコクタイカイ
店 名 七四八（ナナヨンハチ）店（748） 預金種目 普通
口座番号 9386602

振込は、入金内容（事前研修費・本大会参加費・情報交換会費）をお間違えのないようご確認の上、一括して上記の口座番号へ振り込んでください。（振込用紙は使用できません）

（例：「会員」が「事前申込」で「すべて」に参加の場合…1,000円＋3,000円＋5,000円＝**9,000円**）

③ 申し込み方法

<事前申込の場合>



① 専用の事前申込フォームに必要事項を書き込み、送信する。

<http://form.os7.biz/f/8e8c7f61/> または右の QR コードより専用フォームへ。

【5月1日（日）00：00～7月10日（日）24：00】までにお申し込みください。

申込直後に送信される【仮受付メール】によって申込内容を確認してください。

② 参加費等を振り込む。

入金内容をお確かめの上、振込用紙に必ず金額とともにご記入下さい。

下記の振込口座へ **【7月15日（金）15：00】までにお振込みください。**

③ 【事前申し込み完了メール】を受信する。

大会事務局での事前申込及び振込の確認ができ次第、順次ご登録メールアドレスへ【事前申込完了メール】を送信いたします。必ずご確認ください。

↓

<<事前申込受付完了>>

注1：振込後2週間経っても【事前申込完了メール】が受け取れない場合は、お手数ですが大会事務局までお問い合わせください。

注2：振込いただいた費用は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

注3：事前申込/振込が確認できない場合には、当日申込の扱いとなりますのでご注意ください。

注4：ご自身にインターネット環境がなく事前申込が困難な場合には、別紙「FAXによる事前申込」によりお申し込みください。

<当日申込の場合>

受付にて申込手続きをし、上記の該当参加区分の参加費をお支払いください。

なお、当日申込での情報交換会は参加できませんので、ご了承ください。

④ 情報交換会について

会場は八王子市内の「中華料理 海苑」となります。

メリット1：参加される方に限り、大会終了後に法政大学多摩キャンパスから会場までと、情報交換会終了後に会場からJR八王子駅及び京王八王子駅までの**送迎バス**をご利用いただけます。

(参加者のうち、バスを利用しない場合には、必ず事前にご連絡ください)

メリット2：遠方からのご参加の方々にもごゆっくり全国の仲間と交流できますよう、**着席**にてお食事を楽しんでいただけます。

なお、情報交換会は、**事前申込のみ**受け付けます。定員になり次第、申込を締め切らせていただきますので、皆様、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

⑤ 宿泊の手配について

大会事務局での宿泊の手配は行っておりません。各自でご用意いただきますようお願いいたします。なお、周辺の宿泊施設は予約がとりづらい状況になっております。余裕をもってご予約されることをお勧めします。

⑥ 託児について

託児所は設けておりませんので、ご了承ください。

⑦ 駐車場について

原則、大学構内へのお車での乗り入れはご遠慮いただいております。後述の交通アクセスを参照の上、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

ただし、おからだの不自由な方には、事前に申し出ていただいた方に限り、駐車場のご案内をいたします。大会事務局までご一報ください。(事前申し込みのコメント欄にてお知らせいただいてもかまいません)

3. 口頭発表応募方法・留意事項

口頭発表（研究発表・実践発表）の申し込みを希望する会員は、下記応募要領をご参照の上、不備のないように、**6月10日（金）必着**でご応募ください。

応募要領

（1）発表者の応募資格

- 1) 応募の時点で本学会の会員（2016年度までの学会費納入者）の資格を有する者。
 - 2) 共同発表の場合は、応募の時点で1名でも1)に該当しない場合は、申し込みを受理することはできません。
 - 3) 発表応募者（共同発表者を含む）は、事前申込及び大会参加費の振込を完了してください。
- ※1) から3) の条件を充たさない場合は、大会直前であっても発表を取り消すことがあります。

（2）発表の応募方法

- 1) 事前申し込みの際、口頭発表応募希望の欄の【あり】を選択してください。
- 2) 【事前申込完了メール】を受け取っていることを確認して下さい。
- 3) 大会事務局に、件名に「2016ssw口頭発表申込」と書き、本文に①氏名、②所属、③連絡先（住所及び連絡可能な電話番号）、④希望する発表形態（研究発表／実践発表）【下記（3）の3）参照】、⑤題目、⑥パソコン使用の有無、⑦共同発表者氏名（単独の場合は不要）を明記し、発表原稿（要旨）を添付の上、メールにて応募してください。

（3）発表原稿（要旨）作成上の留意事項

- 1) 口頭発表は、1会員1演題に限ります。そのため、応募については必ず筆頭発表者が行うようにしてください。
- 2) 同一テーマによる発表は、「その（1）」「その（2）」までとします。ただし、内容が別の研究と認められる場合に限り、また、当日の発表においても、各々が独立した発表として行うため、時間を連続して発表を続けることはできません。
- 3) 口頭発表の形態は、自らの研究の成果を発表する「**研究発表**」と、自らの実践内容を発表する「**実践発表**」の2種類とします。発表応募者は、発表の種類を選択したうえで発表原稿を作成してください。
- 4) 要旨は学術的文献として公表されます。内容を十分に吟味したうえで、研究発表については、原則として、研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論等の各項に分けて記述してください。この形式で作成されていない発表原稿については、発表を認めない場合もあります。
- 5) 口頭発表の可否は、理事会の審査で決定し、審査結果については7月末頃までに大会事務局より各応募者へご連絡いたします。その際、要旨の内容により、発表の種類を変更していただく場合もあります。
- 6) 研究倫理上の問題がある発表や個人の著作販売を目的とする発表等は、発表後であってもそれを取り消す場合があります。
- 7) 口頭発表が決定した後、急なキャンセル等をされないように留意してください。

(4) 発表原稿(要旨)の作成要領

1) 原稿用紙

要旨は、A4版2ページで作成してください。字数は目安として、Word・MS明朝にて本文3,358字(23字×146行)となります。PDFファイルは受理できませんのでご注意ください。本文とは別に、文頭6行を題目・発表者氏名・所属機関・キーワードを挿入してください。具体的な記載例は、後記の「発表原稿の書式」を参考にしてください。なお、連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付けてください。また、本文の最後に発表者氏名をローマ字にて記載してください。

2) 図・表

図と表は最小限に止め、写真は使用しないでください。

3) 事例

事例等の記述については、プライバシー保護の観点から、関係者からの承諾等の基本的な倫理規定を遵守してください。なお、要旨には倫理的配慮の内容を明記してください、記載内容が不十分な場合や記述がない場合は、発表が採択されないことがあります。

(5) その他留意事項

- 1) パソコンを使用する場合には、原則として大会事務局で用意したパソコンをご使用いただきます。
- 2) 発表原稿の要旨の他に追加資料がある方は、各自にて60部をご用意ください。会場での印刷は一切ご対応致しかねます。予めご了承ください。
- 3) 発表用のデータは、各自のUSBにて当日、ご持参ください。**8月28日(日) 9:00~9:20**を発表者の準備時間といたしますので、パソコンの操作確認等も含めて、事前のご対応をお願いいたします。
- 4) 一演題の発表時間は、【発表時間20分 質疑応答15分 計35分】を予定しております。

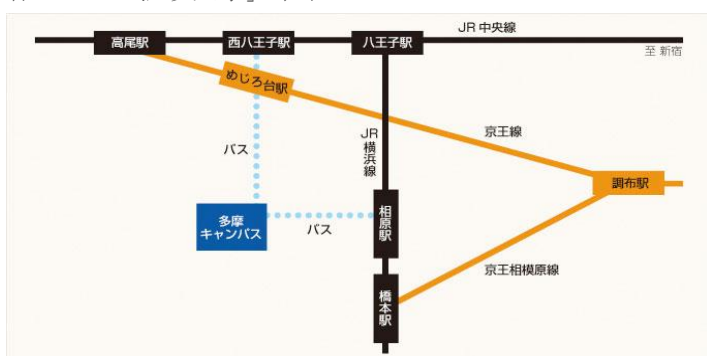
4. 会場アクセス

82	大宮駅	JR埼京線快速 約32分	新宿駅	京王線準特急 約40分	めじろ台駅	バス 約10分
114	千葉駅	JR総武線快速 約39分	東京駅	JR中央線中央特別快速 約53分	西八王子駅	バス 約22分
26	八王子駅	JR中央線 約3分			西八王子駅	バス 約22分
28	町田駅	JR横浜線 約15分			相原駅	バス 約13分
62	横浜駅	JR横浜線 約13分	新横浜駅	JR横浜線 約36分	相原駅	バス 約13分

内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

*新横浜駅は経由で、乗り換えではありません。

各バスで「法政大学」下車



大会事務局

ご質問やご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

〒194-0298

東京都町田市相原町 4342

法政大学現代福祉学部実習指導室

(担当: 宮地)

FA X 042-783-2801

E-mail 2016jsssw@gmail.com



題目 (主題)

題目 (副題)

氏 名

(所 属)

Key Word (3つまで)

1行あける

33行分

40行分

段
間
余
白
7
ミ
リ

23字分

23字分

余
白
20
ミ
リ

余
白
20
ミ
リ

上余白 22 ミリ

40 行分

40 行分

余白 20 ミリ

段間余白 7 ミリ

余白 20 ミリ

23 字分

23 字分

(Name) Hanako Tokyo

下余白 22 ミリ

